様式ID	NTA1I NT150010010

★

印紙税不納付事実申出書（初葉）

年　　月　　日提出

提出先	F01		税務署長

申出者（作成者）	郵便番号	F05	―	住所	F06		
	フリガナ	F03				フリガナ	
	氏名又は名称	F04				代表者氏名	
	個人番号又は法人番号	F02				電話番号	F07 ― ―
課税文書の作成場所	郵便番号	F39	―	所在地	F40		
	名称	F38					

次のとおり印紙税法第20条第２項の規定による印紙税不納付の事実を申し出ます。

不納付の事実	課税文書 号別	課税文書 課税物件名	課税文書 名称	税率又は税額区分	数量	作成年月又は作成年月日	課されるべき印紙税額	不納付となった印紙税額	所持者の住所及び氏名又は名称
				円			円	円	
	計								

不納付となった理由	
	□ 課税文書の一部に収入印紙の貼付漏れがあった。 □ 課税文書に該当しない（不課税文書）と判断していた。 □ 非課税規定の適用を誤っていた。 □ 課税文書の所属を誤っていた。 □ その他（　　）
その他参考事項	

税務署整理欄	番号確認		身元確認		個人番号カード・通知カード・運転免許証 その他（　　）	備考	

注意　1　課税文書の作成年月日の属する年度区分ごと（本会計年度分、前会計年度分及び前々会計年度以前分）に区分して、それぞれについて用紙を分けて記載してください。

2　不納付に係る課税文書の所持者が明らかでない場合には、「所持者の住所及び氏名又は名称」欄の記載を省略しても差し支えありません。

3　不納付に係る課税文書又はその写し若しくはひな型を添付してください。

4　不納付の事実の末尾に「数量」、「課されるべき印紙税額」及び「不納付となった印紙税額」の合計額を記載してください。

5　不納付となった理由欄は、該当する理由（複数ある場合は、主な理由）の□にレ点を記載してください。